

令和3年度の取組事例

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災教育の促進

令和3年度の取組状況

1 マイ・タイムライン作成講習会等の開催

災害時の「逃げ遅れ」を防止するため、県民を対象としたワークショップを開催し、下記の取組を実施することで、災害時における県民の適切な避難行動を支援している。

- 【取組内容】①ハザードマップを活用した居住地の災害リスク及び避難先の確認
 ②避難指示等行政が発信する情報の確認及び避難のタイミングの検討
 ③マイ・タイムライン作成による、避難に向けた準備行動及び行動するタイミングの検討

【実績】平成30年度：17回 令和元年度：18回 令和2年度：20回

2 WEB版マイ・タイムライン作成システムの構築

- 講習会等に参加できなくても、自宅で簡単にマイ・タイムラインを作成することができるWEBサイトを構築し、公開した。
- 電子データで保存することで、いつでも見直すことが可能。



3 ペッパーを活用した防災講座の開催

- 人型ロボット「ペッパー」による防災講座を開催した。
- 防災講座は、小学生を対象に開催し、県庁見学の際や、出前講座により小学校を訪問した際に実施した。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

洪水浸水想定区域図作成及び市町村への提供

令和3年度 of 取組状況

洪水ハザードマップの基礎資料となる洪水浸水想定区域図について、茨城県では、これまでに17河川について作成し市町村へ提供をしていたが、新たに13河川(10河川を新規作成、3河川を区域延伸)について作成したことから、関係市町村へ情報提供を行った。

浸水想定区域図作成河川一覧

R3 新規作成河川(10河川)

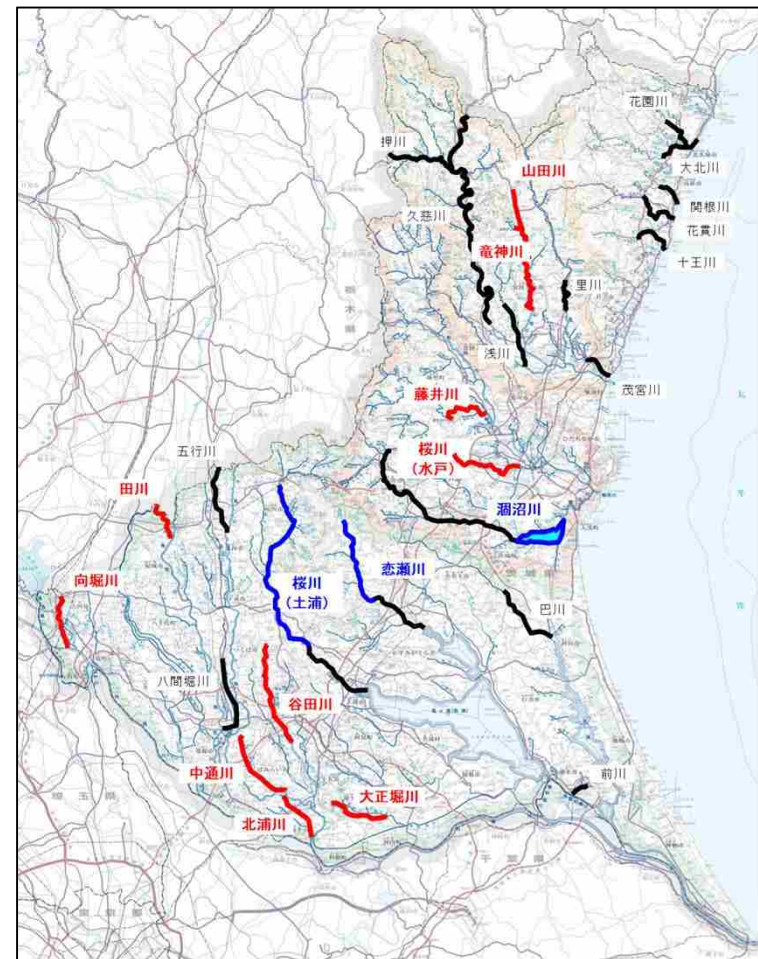
桜川(水戸)、藤井川、山田川、竜神川、中通川、谷田川、北浦川、大正堀川、田川、向堀川

R3 区域延伸河川(3河川)

湊沼川、恋瀬川、桜川(土浦)

作成済み河川(17河川)

八間堀川、五行川、恋瀬川、前川、巴川、湊沼川、久慈川、押川、里川、浅川、茂宮川、花貫川、十王川、関根川、桜川(土浦)、大北川、花園川



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

洪水に関する防災講座の実施

令和3年度の実施状況

1 概要

| 日程 | 場所 | 参加者数 | 主な内容 |
|---------------|---------|------|--------------------------------------|
| 令和3年10月23日(土) | 留町民センター | 25人 | ・久慈川・茂宮川ハザードマップの説明 ・マイ・タイムライン作成講習 |

2 実施の様子



防災講座
～ 洪水に備えての心得 ～

本日の内容

- 1 久慈川・茂宮川洪水ハザードマップについて
- 2 マイ・タイムラインを作成してみよう！

☆ 2

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

令和3年度地域防災訓練の実施

令和3年度 of 取組状況

- 1 令和3年6月27日に行政自治会との共催で、古河第三中学校区の自治会長などを対象に訓練を行った。
- 2 訓練は古河市に台風が直撃することを想定し、ハザードマップやマイ・タイムライン等を使って、報道情報や市からの防災・防犯メールの情報を基に自身で避難するタイミングを判断する実践的な内容を構成し行った。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

古河市災害対策本部 水害対応図上訓練の実施

令和3年度 of 取組状況

- 1 令和3年8月5日に利根川の氾濫を想定した、災害対策本部図上訓練を行った。
- 2 訓練は利根川の水害緊迫時と水害発生後の2つの状況を想定し行った。
- 3 警察・消防・自衛隊などの関係機関にも参加いただき、どのように対応を行うのか連携の確認を行った。



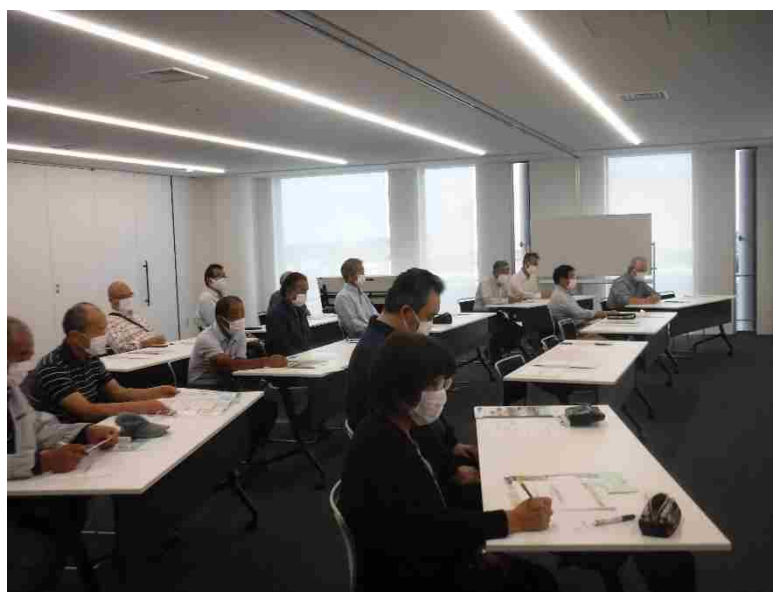
(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育訓練に関する事項

水害時の避難誘導のための浸水想定区域内自治会への説明会開催

令和3年度の取組状況

- 1 鬼怒川・田川放水路の浸水区域内の自主防災組織未結成の自治会に対して県防災・危機管理課と合同で説明会を開催した。(10月7日、10月14日)
- 2 出席した自治協力員に水害時の避難誘導を行う自主防災組織の結成を依頼した。
- 3 説明会により、避難誘導に対する意識が高まり、結成の動きの自治会もあった。
出席自治会数 28自治会



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育訓練に関する事項

令和3年度避難所感染防止対策資機材取扱訓練

令和3年度の取組状況

- 1 避難所における感染症対策資機材の取扱について、各小中学校防災担当職員及び市避難所担当職員等が訓練を行った。
- 2 訓練内容
新規購入した感染症対策用資機材(間仕切りテント等)の使用方法を確認する現地訓練
- 3 訓練により、各小中学校防災担当職員及び市避難所担当職員等の水害時における感染症対策を踏まえた避難所運営力の向上を図られ、水害発生時の避難開設を迅速に行えるようになった。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災教育の促進

令和3年度の取組状況

利根川下流河川事務所と連携し、龍ヶ崎西小学校で総合の時間に水害に対する防災授業を実施した。市の防災の手引きや逃げキッド等を活用したり、災害時の映像の視聴などを実施。また、インターネットからの情報収集を実際に体験し、洪水時の避難についての学習を行った。



↑ 授業の様子

| 実施日 | 学習内容 |
|------------|------------------------|
| 令和3年9月24日 | 龍ヶ崎市で川と共存する人たち |
| 令和3年9月28日 | 水害を予測する地図「ハザードマップ」 |
| 令和3年9月30日 | 安全な避難先を探そう |
| 令和3年10月8日 | 日ごろから水害に備えて避難の準備をしておこう |
| 令和3年10月15日 | タブレットで川を見てみよう |
| 令和3年10月22日 | 避難のタイミングを確認してみよう |
| 令和3年10月29日 | 水害が起こる前にどう行動するか考えよう |
| 令和3年11月5日 | 水害が起こる前にいつ行動するか考えよう |
| 令和3年11月19日 | 考えた行動をみんなと共有しよう |

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認

令和3年度 of 取組状況

デジタル方式の防災ラジオの導入

- ・280メガヘルツ防災ラジオを希望する世帯に配布した。
- ・同ラジオ(文字表示付きタイプ)を希望者(聴覚障害の手帳交付者)に配布した。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災教育の促進

令和3年度 of 取組状況

- 小学生に対して、マイ・タイムライン作成講座を実施した。
 - ・ 2021年 11月 下妻小学校6年生 100名
 - ・ 2021年 11月 大宝小学校4年生 49名
- 市の出前講座を活用し、マイ・タイムライン作成講座を実施した。
 - ・ 2021年 11月 市女性団体連合会 16名
 - ・ 2021年 12月 騰波ノ江地区区長社協連合会 20名 (講師:市長)
 - ・ 2021年 12月 市個人登録ボランティア会 26名



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達, 避難計画等に関する事項

避難行動要支援者の個別避難計画作成に係るフォーラム及び研修の実施

令和3年度の取組状況

当市では内閣府の避難行動要支援者個別避難計画作成モデル事業に採択され, 個別避難計画作成に取り組むにあたり, 作成支援者を対象としたキックオフフォーラムとリーダー研修会を開催した。

○『キックオフフォーラム』: 令和3年7月11日(日)・・・約70名参加

先進事例の共有・パネルディスカッション等

○『リーダー研修会』: 令和3年10月3日(日)・・・約30名参加

防災行動計画シートを活用し, 個別避難計画作成方法を検討

STEP1: 地域のリスクを知る→STEP2: どのような行動が考えられるか→STEP3: 自分で実際に行動を考える

● キックオフフォーラム

先進事例の共有



パネルディスカッション



● リーダー研修会

グループワーク



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

洪水浸水想定区域住民に対する防災出前講座の実施

令和3年度の実施状況



実施内容

日時: 令和3年8月3日

場所: 駒形集会所

目的: 洪水及び津波浸水想定区域に居住する高齢市民を対象とした防災出前講座を開催することで、災害時に適切な防災行動がとれるよう、市民の避難力を強化し「逃げ遅れゼロ」につなげることを目的とする。

概要: 防災出前講座の一環として市内を流れる二級河川である花貫川洪水浸水区域の地域住民に対し防災講座を行った。

講座では、市から防災マップについて説明し、大雨時の自分の行動について質疑応答を交えながら考えを深めてもらった。

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認

令和2年度～3年度の取組状況

○ 住民への確実な情報伝達方法の確立(戸別受信機)

情報伝達手段の多様化を図るため、ハザード内に住む高齢世帯を対象に、防災行政無線の戸別受信機の貸与を実施

【対象】津波及び洪水の浸水想定区域や土砂災害警戒区域に居住し、携帯電話等による情報の取得が困難な高齢世帯や障がいのある方がいる世帯

【対象者数】 3, 225名

【設置台数】 411台

○ 住民への確実な情報伝達方法の確立(電話・FAX配信サービス)

防災メール配信に加え、携帯電話を持っていない方や障がいのある方を対象に、市が発信する災害時の緊急情報を固定電話に音声やFAXで配信するサービスの利用を開始

【配信内容】市が発信する避難情報、避難所開設情報、その他災害時の緊急情報

【対象】携帯電話を持っていない世帯及び障がいのある方

【登録者数】 39名 (R3.10末時点)



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災教育の促進

令和3年度 of 取組状況

○ 小学生を対象とした防災教育の実施

【日時】令和3年5月28日(金)

【対象】関本小学校4年生 17名

【場所】生涯学習センター「とれふる」

【内容】指定避難所となっている「とれふる」について、避難所としての機能や備蓄物資の説明を行い、日頃からの防災に対する備えについて啓発を行った。



○ 中学生を対象とした防災教育の実施

【日時】令和3年10月6日(水)

【対象】関本中学校3年生 18名

【場所】生涯学習センター「とれふる」

【内容】避難所でできる手助けや注意点などを説明し、中学生でもできる避難所運営について考えていただき、「自助」及び「共助」についての重要性の啓発を行った。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災教育の促進

令和3年度の取組状況

・タブレット端末を利用したマイ・タイムライン作成促進事業

【目的】

取手市内の市立小学校の5年生を対象に、各児童に配布されたタブレット端末と、Web版マイ・タイムライン作成システムを活用し、自分自身で災害に関する情報を調べながらマイ・タイムラインを作成させることで、児童の防災意識の向上を図る。

【対象】

○市立小学校の5年生

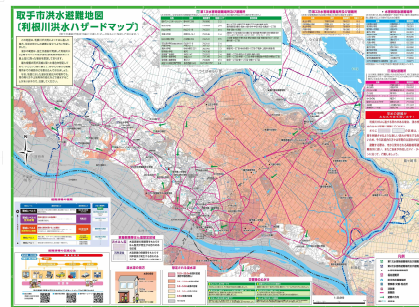
【学習内容】

- ①「マイ・タイムライン」について知る。
- ②自分の居住地域ではどのような危険があるのかを知る。
- ③実際に「マイ・タイムライン」を作成する。
- ④作成した「マイ・タイムライン」を家族で見直す。

【学習のポイント】

- ①「マイ・タイムライン」とはこういったものなのかを理解することで、タイムラインの必要性和重要性を認識できる。
- ②洪水ハザードマップ等の資料を利用し、災害リスクについて調べることで、災害に関する情報を調べる能力が身につく。
- ③「マイ・タイムライン」の作成を通じ、居住地区からの安全な避難行動についてきちんと考えることができるようになる。
- ④作成した「マイ・タイムライン」を家族で見直すことで、一人では気がつかなかった点に気がつくことができ、災害時に実際に利用できるタイムラインが完成する。

【作成資料】



取手市洪水ハザードマップ



マイ・タイムライン作成用資料

【授業風景】



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

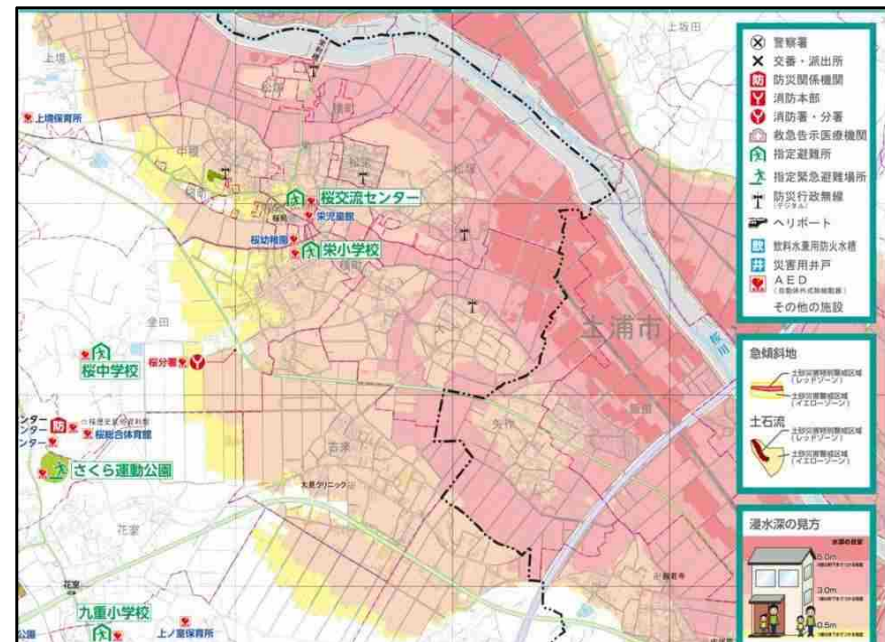
桜川の洪水浸水想定区域における防災講座の開催

令和3年度 of 取組状況

4月24日、25日に、桜川の洪水浸水想定区域の指定がある地域で市民を対象とした防災講座を開催した。

【内容】

ハザードマップを配布して洪水浸水想定区域を周知したほか、避難情報をはじめとする災害情報の説明や避難に関する事前準備や避難の在り方についてを啓発した。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達，避難計画等に関する事項

総合的な防災情報を網羅した防災マップの配布，情報伝達体制の強化

令和3年度の取組状況

防災マップの更新

洪水浸水エリア，津波浸水エリア，土砂災害警戒区域などを網羅した「防災マップ」を令和3年度に更新し，全戸配布を行った。

新たな「防災マップ」では，これまで掲載していた防災情報に加え，新たな避難判断基準，感染症対策を踏まえた備蓄品，避難時の注意点等，最新の知見を入れている。

防災情報配信の強化

円滑かつ迅速な避難を促進するため，防災情報や避難所情報のメール配信サービスを拡充し，気象庁が発表する「震度3以上の地震情報」，「津波情報」，「気象警報」，「台風情報」，「指定河川洪水予報(那珂川)」等の情報配信を開始した。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

災害対策基本法一部改正により職員への災害マニュアルの改訂

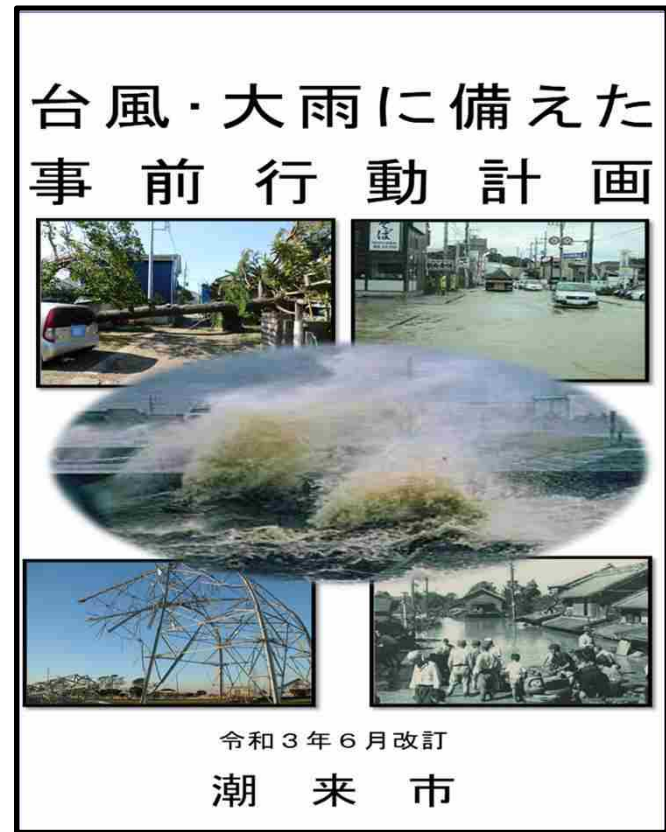
令和3年度 of 取組状況

令和3年5月の災害対策基本法の一部改正をうけ、本市職員向けマニュアルを6月に改訂

災害警戒本部では、こちらの計画内容を基に、事前・点検確認を実施

全39ページの内容(※青文字は本年度修正箇所)

- 基本方針 ●事前行動計画 ●役割分担 ●管理施設対応表
- 指定避難所一覧 ●関係機関連絡先 ●土砂災害警戒区域一覧
- 河川対応方法 ●洪水浸水想定区域指定状況 ●タイムライン
- 避難指示等の発令基準 ●防災気象情報による対応一覧
- 洪水ハザードマップ ●舟溜樋門位置図 ●樋門・樋管位置図
- 下水道ポンプ場位置図 ●日の出地区(内水)雨水排水整備計画
- 農業集落排水施設位置図 ●川尾池(ため池)水位調節手順表
- 洲崎地区(内水)揚排水経路図 ●水位・雨量観測所位置図
- 牛堀特殊閘門箇所一覧 ●防災気象情報サイトリンク集
- 警戒区域内要配慮者利用施設一覧(浸水・土砂) ●停電情報システム
- 避難情報発令の一部変更 ●避難所備品一覧 ●備蓄食糧リスト
- 潮来市浸水想定区域内 地区別人口一覧 ●土のうステーション位置図
- 過去の氾濫箇所位置図

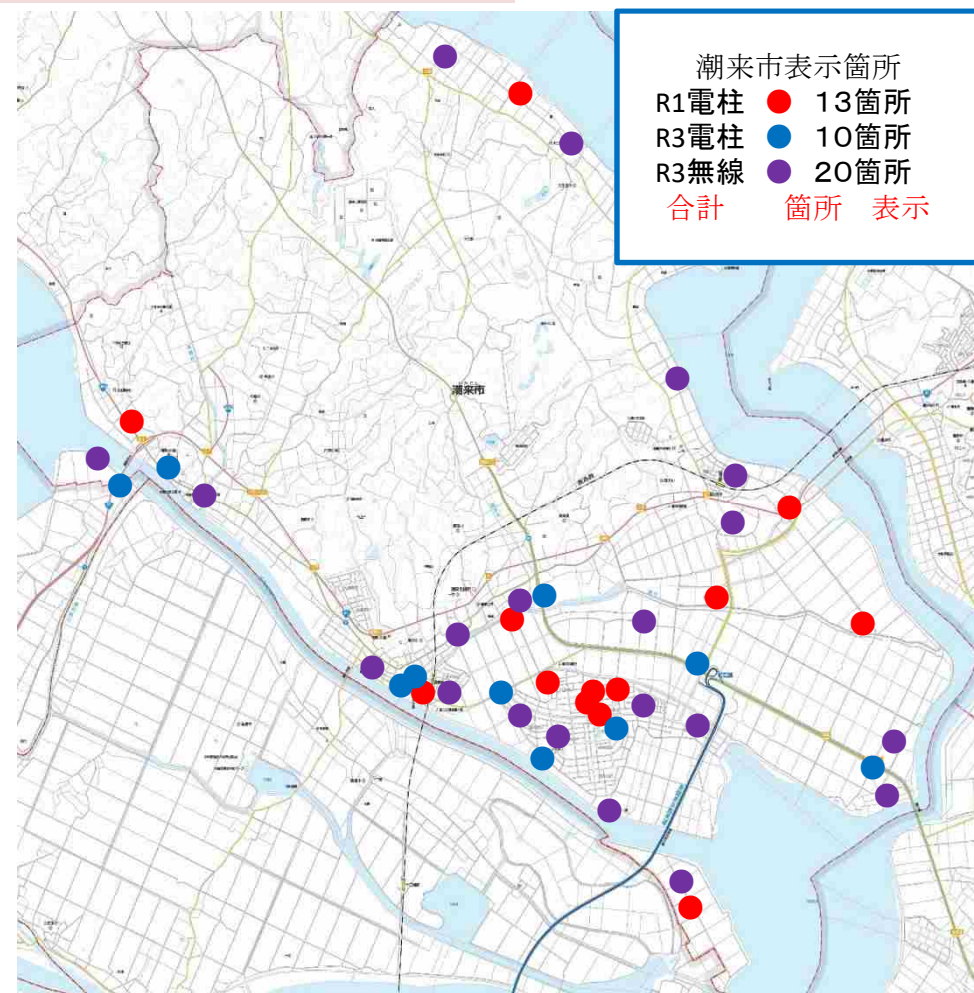


(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

まるごとまちごとハザードマップの整備(電柱公告を利用した表示のほか、防災無線を活用して表示)

令和3年度の実施状況



| 年度 | 実施内容 |
|-------|---|
| 令和元年度 | 電柱公告を利用して市内10箇所に表示 浸水想定区域内の避難所3箇所に表示 |
| 令和2年度 | 市内全域の浸水深算出のため、Q-GISソフト導入 |



| 年度 | 実施内容 |
|-------|---|
| 令和3年度 | 電柱公告を利用し市内10箇所に表示 浸水想定区域内の防災無線BOXを活用し20箇所に表示 |



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

住民が参加する避難訓練

令和3年度 of 取組状況

災害発生時に避難所への避難を躊躇うことがないように、感染症対策を行った避難所の説明を行った。また、市職員のみでは迅速な避難所開設が困難な場合もあるため、避難者に避難所開設を手伝ってもらえるよう、避難所テント等の備蓄品を実際に組立てる等の体験をもらった。

訓練は、令和3年10月3日(日)に、大野小学校をモデル避難所として実施し、感染防止のため、参加者は、大野地区のまちづくり協議会の役員、大野地区の区長及び大野地区の自主防災組織の代表者のみとした。

また、消防団も訓練に参加し、避難行動要支援者を避難所に搬送する訓練を行った。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

住民が参加する避難訓練

令和3年度の取組状況

茨城県と常陸大宮市が共同して防災訓練を実施し、住民に対する迅速・的確な避難行動の普及啓発や避難所における新型コロナウイルス感染症対策の確認等の避難力強化を目的に実施した。

避難所での受付の状況



訓練後の防災講習会の状況



実施内容

1 訓練の狙い

- ①実践(実戦)的訓練の追求
 - ・イベント型訓練から住民参加型訓練
- ②自助・共助の一層の推進
 - ・マイ・タイムラインの作成
 - ・自主防災組織と消防団が連携した避難の呼びかけ
 - ・自主避難所の開設・運営
- ③自主防災組織等と市役所の連携強化

2 実施日:令和3年7月10日(土)

3 対象地域:久慈川・那珂川浸水想定区域

4 実施内容

訓練想定に基づき、災害対策本部の設置から住民の避難までの間において、災害対策本部設置・運営、情報伝達、住民避難、避難所開設・運営及び要配慮者施設避難訓練を一連の流れで実施(訓練終了後、防災講習会を開催)

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達，避難計画等に関する事項

防災アプリ・文字表示機・電話案内サービスの導入

令和3年度の取組状況

- 1 防災行政無線のデジタル化にあわせて、新たな情報伝達手段として防災アプリを導入しました。市外にいても、このアプリで防災行政無線の放送内容や災害情報などが確認できます。

①アプリのアイコン
ios版とAndroid版



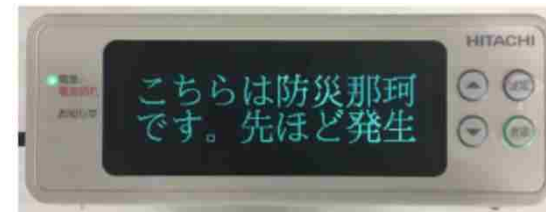
②文字と音声で確認できます
放送した防災行政無線で
放送した内容を文字と音声
で確認できます。
また、過去に配信した内容
についても、日付を追って
確認できます。
※日本語・英語・中国語
韓国語に対応しています。



③避難場所を確認できます
スマートフォンの位置
情報を利用して、災害時
に開設している避難所の
場所を地図上で確認する
ことができます。



- 2 文字表示機を導入し、防災行政無線で放送した内容を文字で確認できるようにしました。聴覚障がいのあるかたがいる世帯に無償貸与しています。
※文字の大きさは、大・中・小と三段階あります。



- 3 防災行政無線からの放送を聞き逃しても、放送内容を無料で確認できる電話案内サービス（フリーアクセス）を開始しました。 ※茨城県内からの発信に対応しています。

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

高齢者の適切な避難行動の理解促進に向けた取組

令和3年度の取組状況

日頃から高齢者一人ひとりが災害時に適切な避難行動をとれるよう地域と連携し、災害リスクや避難場所、避難するタイミングの理解を深めてもらうことを目的に、筑西市消防防災課と地域包括支援センター・各事業所ケアマネジャーが連携して、高齢者に対する水害からの避難行動の理解促進に向けた取組(説明・研修会)を実施。併せて災害対策基本法の一部改正に伴う避難情報発令の変更点についても説明。

○令和3年6月30日(水) 筑西市総合福祉センター2階

○各介護支援事業所ケアマネジャー75名参加



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災教育の促進(小学生を対象とした防災教育の実施)

令和3年度 of 取組状況

市内小学校において、筑西消防署と共に大規模地震を想定した各種訓練を実施し、防災意識の高揚及び災害時の対応能力の向上を図るとともに、洪水をはじめ、水害からの避難を想定し、洪水ハザードマップを活用しながら、警戒レベル及び防災関連グッズなどを説明・指導する防災コーナーを併設し、防災知識の普及を推進。

- 令和3年10月26日(火) 大田小学校・・・659名参加
- 令和3年度内に残り2小学校で訓練予定



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

中学生を対象とした防災教育の実施

令和3年度 of 取組状況

○中学生を対象とした防災教育の一環としてマイタイムライン作成講座を開催

令和3年4月20日 坂東市立東中学校 2年生 53名



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

避難行動要支援者個別避難計画の作成等の促進

令和3年度 of 取組状況

内閣府の個別避難計画作成モデル事業に参加。
 常総市及び筑波大学と共同で、避難行動要支援者個別避難計画のモデル地区を設定し、個別避難計画の作成に向け取り組みを実施。

【これまでの経緯】

| 日程 | 内容 |
|-----------|---|
| 令和3年6月15日 | 個別避難計画作成モデル事業 キックオフミーティング(内閣府) |
| 令和3年6月30日 | 個別避難計画作成モデル事業 合同研修会(内閣府) |
| 令和3年7月11日 | 「みんなでタイムラインフォーラム」キックオフ会合 (常総市生涯学習センター) |
| 令和3年7月29日 | 第1回ノウハウ共有ミーティング(内閣府) |
| 令和3年8月23日 | 第2回ノウハウ共有ミーティング(内閣府) |
| 令和3年9月9日 | 第3回ノウハウ共有ミーティング(内閣府) |
| 令和3年10月3日 | 個別避難計画リーダー研修会 (常総市役所) |



リーダー研修会

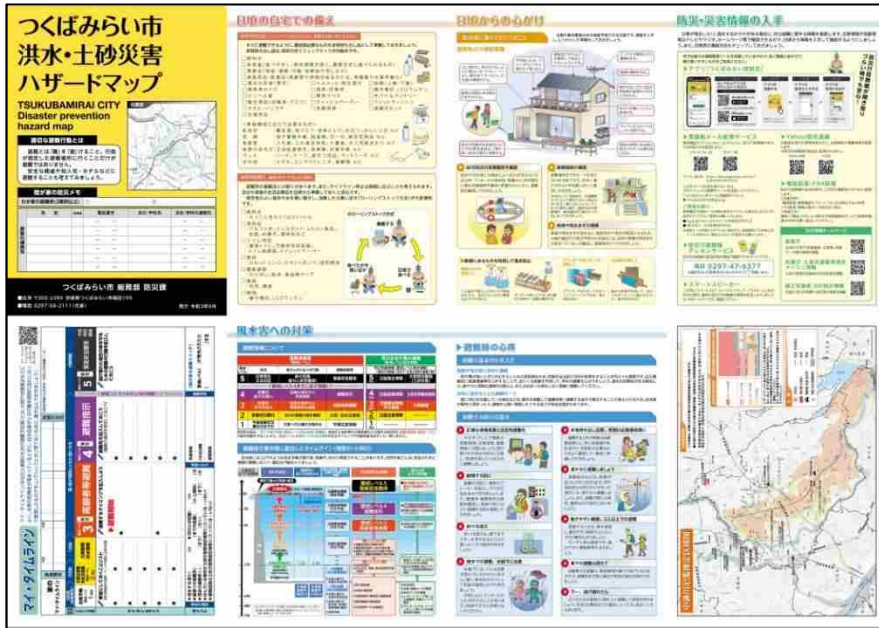
(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

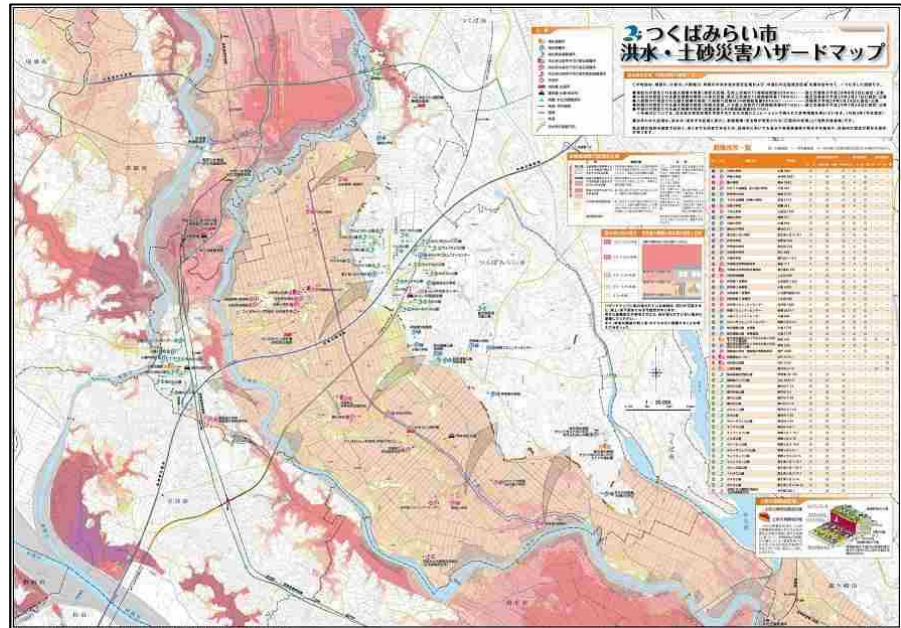
洪水ハザードマップの更新・周知

令和3年度 of 取組状況

- 市内の県管理河川の浸水想定深が策定されたことから、洪水・土砂災害ハザードマップを改定
- 8月下旬に全戸配布(20, 350部)



(情報面)



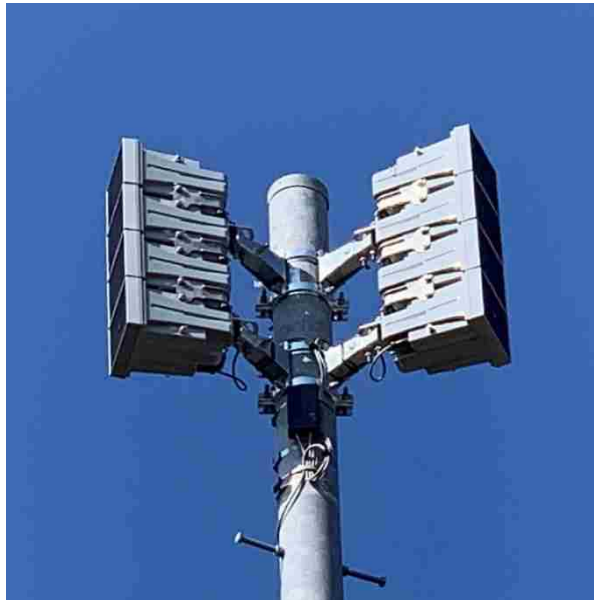
(ハザードマップ)

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項、②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
- 住民(自治会体未加入世帯、高齢者、外国人等)への確実な情報伝達方法の確立

令和3年度 of 取組状況

- 防災行政無線のデジタル化工事が、令和3年7月31日で完了。
- 屋外スピーカーに、高性能型スピーカーを採用し、音声の明瞭性が向上。
- デジタル化工事に合わせて、防災アプリや電話・ファックス配信等、情報伝達手段を拡充し、一斉配信を行えるように改良。



(高性能型スピーカー)



(防災アプリ)

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

小学生を対象とした防災教育の実施

令和3年度の取組状況

市内谷原小学校(浸水想定区域内)第4学年の児童に対し、防災課職員2名が出張し、出前授業を実施。

【主な内容】

- ・備蓄の考え方 ・避難時の持ち出し品 ・分散避難 ・学校敷地内の防災倉庫の説明
- ・避難所生活の体験 (ワンタッチテント/エアベッド/簡易組立式トイレ/トイレ用テント)



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

出前講座等を活用した講習会の実施

令和3年度の実施状況

- 浸水想定区域内の行政区を中心に、市防災アプリ等の防災情報の取得方法や自主防災組織の補助制度等の案内について、地域に出向いて出前講座を適宜実施。
- 土砂災害(特別)警戒区域の住民について、防災課職員が各個人宅を訪問し、防災アプリのインストール方法等を説明するとともに、防災に関するお知らせのチラシをポスティングを実施。

| 実施日 | 訪問先 |
|-----------|----------------------|
| 5月23日(日) | 樫木公民館、箕輪公民館、北袋集落センター |
| 6月5日(土) | 細代営農集落研修センター |
| 7月4日(日) | 道畑公民館、舟戸公民館、雷神社 |
| 8月1日(日) | 下小目公民館 |
| 9月25日(土) | 関場藤柄営農研修センター |
| 10月15日(金) | 土砂災害(特別)警戒区域89世帯 |
| 18日(月) | |




(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

住民への確実な情報伝達方法の確立

令和3年度 of 取組状況

- ・災害情報伝達の強化に向け、登録制メール配信サービスを導入。
- ・登録者に対し、防災行政無線の放送内容をメールで配信している。
- ・導入により、雨の日などの防災行政無線が聞こえにくい状況でも、正確に情報を伝えることができるようになり、情報伝達の強化に繋がった。

 茨城町 防災情報
宛先:

【災害情報】台風第8号について

現在、日本の東の海上に発生している台風第8号は、明日27日、茨城県に最接近する見込みです。大雨等に備え、ハザードマップで危険な区域を確認するなどの防災対策をお願いします。

避難情報等を発令する場合は、防災行政無線や本メール配信サービス、Twitter等でお知らせいたしますので、引き続き町からの情報にご注意ください。


なお、茨城町内でも、近隣の他市町村からのエリアメール等が届く場合がありますので、情報の発信元に十分ご注意ください。

【担当課】
総務課 防災・危機管理グループ
(029-240-7125)

「登録制メール配信サービス」のお知らせ
防災行政無線の放送内容などをメールで配信します
※メールアドレスなどの登録が必要です！

防災行政無線が聞き取りにくい、町外に出かけている間の放送内容も知りたい、といった場合は以下のいずれかの手順でメールアドレスなどをご登録ください。**放送と同時に放送内容をメールで配信します。**また、その他の防災情報等についても随時配信します。

※迷惑メールの受信拒否設定をされている方は、登録前に画面の「迷惑メール設定」をご確認ください。

| | |
|---|---|
| <p>二次元コードから登録する場合</p>  <p>①メールアドレスを入力し「登録」 ②必要事項を入力し「登録」</p> | <p>空メールを送信して登録する場合</p> <p>空メール送信先 townibaraki@j.bmb.jp</p> <p>①上記アドレスに空メールを送信 ②折り返しメールが届いたら、メール内のURLにアクセス ③必要事項を入力し「登録」 <small>※iPhone等で空メールを送信する際は、設定に任意の文字（「町」等）を入力して送信してください</small></p> |
|---|---|

配信する内容

- ・防災行政無線の放送内容
- ・防災情報、災害情報に関すること
- ・コロナウイルスのワクチン接種に関すること
- ・その他、町の広報に関すること など

登録がうまくいかないときは・・・

- ・メールアドレスは間違っていないですか？
- ・登録項目をすべて入力しましたか？
- ・迷惑メールの拒否設定は確認しましたか？
(迷惑メール設定については画面参照)

【問合せ先】
茨城町 総務部 総務課 防災・危機管理グループ
TEL 029-240-7125 (直通)

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

出前講座等を活用した講習会の実施

令和3年度の取組状況

- ・浸水想定区域、土砂災害警戒区域に立地する地区において、防災講話を実施。
- ・「自助・共助・公助」それぞれの必要性について説明し、防災意識の向上につとめた。
- ・また、パーテーションや簡易ベッド、簡易トイレ等の防災資機材、そして防災食料の配布等を実施した。



【防災講話の様子】



【防災資機材の展示】

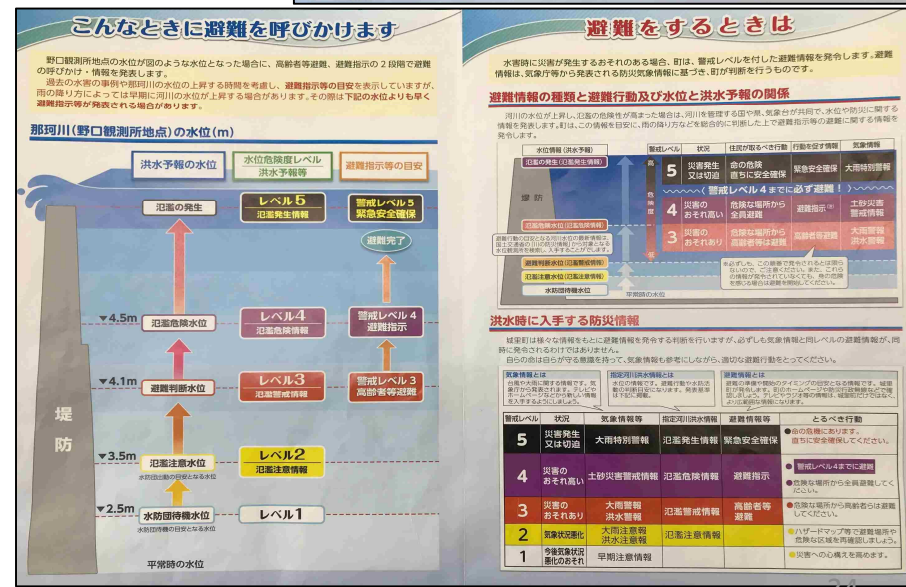
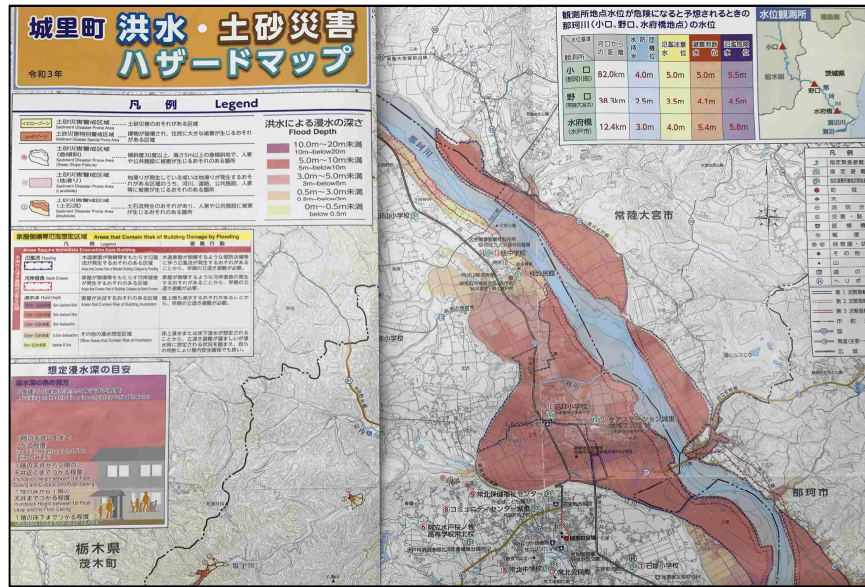
(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

洪水ハザードマップの更新・周知

令和3年度の取組状況

「城里町洪水・土砂災害ハザードマップ」を町内住民に配布。情報面には避難指示の発令に着目した「マイ・タイムライン」の作成案を追加し、普及・啓発に努めた。また、避難指示等の発令基準改正に対応した「避難をするときは」を更新し、避難タイミングの確認に加え、日頃の備えを確認するように周知を図った。



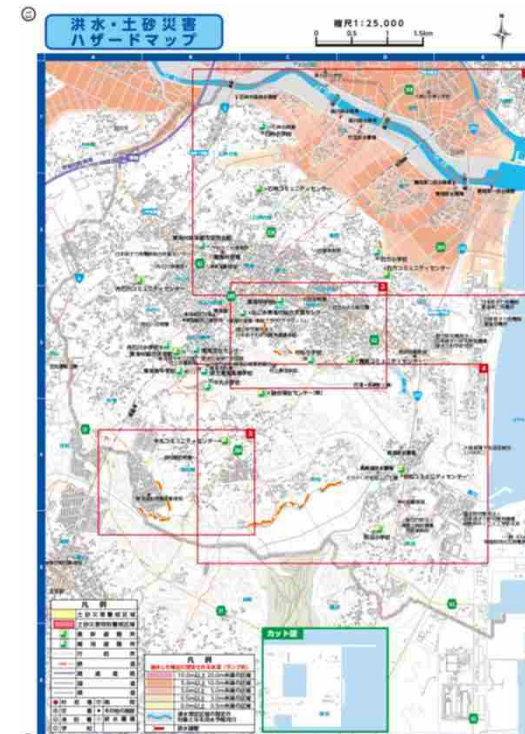
(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

自然災害ハザードマップの更新・周知

令和3年度の取組状況

令和3年5月の災害対策基本法の改正に伴い、災害時の住民の避難を促すために自治体が発令する「避難勧告」と「避難指示(緊急)」が廃止され、「避難指示」に一本化されたほか、避難情報等に係る警戒レベルの運用が始まったことから、「東海村自然災害ハザードマップ」(平成30年3月発行)の改訂版を作成し、2月下旬に全戸配布。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項

危機管理型水位計，河川監視用カメラの整備

令和3年度 of 取組状況

LPWA(低容量・低電力を特徴とした遠距離通信技術)を活用した災害情報の伝達監視を実証事業として実施。

- 1 二級河川新川に流入する用排水路に水位計を設置し水位データを監視。
水位の状況把握と近隣での雨量監視を合わせて災害対策活動の参考とした。
- 2 二級河川新川付近の防災行政無線屋外子局に騒音計及び気象測器を設置し，スピーカーの音量と雨量データを監視。
雨など気象条件の悪い中，正確に災害情報が伝わるかの検証を進めた。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災講演会及びワークショップから学ぶ防災知識、防災士養成研修の開催

令和3年度 of 取組状況

防災講演会及びワークショップから学ぶ防災知識

目的: 自主防災組織の防災力向上

内容: 「茨城県北ジオパーク構想ジオネット大子」が開催する防災講演会に自主防災会が参加し、防災・減災に対する理解促進及び意識啓発を図った。



【ワークショップの状況】



防災士養成研修の開催

目的: 地域の防災リーダーとなる防災士の養成及び地域防災力の向上

内容: 令和元年東日本台風により被災した地区の自主防災会及び町内消防団を対象に開催し、防災士の養成及び地域の防災力の向上を図った。



【養成研修の状況】



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災士を対象としたマイ・タイムラインリーダー養成講座の開催

令和3年度の実施状況

○町内に在住の防災士を対象に、マイ・タイムラインリーダー養成講座を開催。
地域でのマイ・タイムライン作成の普及促進を図る。

- ・実施日 令和3年7月15日(木)
- ・参加者 防災士13名
- ・協力 下館河川事務所、一般財団法人「河川情報センター」



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

コロナ対策を踏まえた避難所開所訓練及び無線通信訓練を実施

令和3年度 of 取組状況

昨年度に引き続き、水害を想定した避難所の開所訓練を7月15日(木)に実施し、職員による非常時の円滑な対応と新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた避難所運営について再度、確認しました。

実施内容

(1)避難所の運営方法について

避難所の運営班ごとに会場に参集し、用意した3つのブース(受付説明・資機材説明・MCA通信要領説明)を全て回った後、各自が受け持つ避難所で開所作業を行いました。

場所 五霞町B&G海洋センター

- 概要
- 感染症に対応した受付～避難者台帳の整備
 - 新たに導入した資機材の活用について
 - ※プライベートテント、ソーラー蓄電池、MCA無線機 等
 - MCA無線機による通信方法について

(2)避難所開所訓練(受付準備、備蓄品等の確認、報告作業)

実際の対応として避難所毎に割り振りをしている職員により、各避難所で開所作業等を実施しました。

- 概要
- 公共施設10箇所、民間事業所4社で実施
 - 職員配置、受付、導線の確認、備蓄品等の確認
 - MCA無線機を使用し、災害対策本部へ開所状況等を報告



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

マイ・タイムライン作成講習会の開催

令和3年度の取組状況

水害からの逃げ遅れをなくすことを目的に、町民に対してマイ・タイムラインの作成について講習会を通じて促し、水害から生命・身体を自ら守ることの必要性を再認識してもらいました。

また、開催に当たっては、会場内の密を避けるため3部制により実施し、自主防災会、、町議員、民生委員及び応募による一般参加者を対象とし、町内全域での意識の定着を図ることができました。

実施内容

- 日時 令和3年6月13日(日)
午前9時～、11時～、午後1時30分～の3部制
- 演題 「マイ・タイムラインの作成」
- 講師 茨城県防災・危機管理課 大久保副参事 様
桂木主任 様
- 内容 ○近年の災害と対策
○水害から身を守るためにやること
(HMの確認、避難情報の確認、MTLの作成)
○防災情報や避難情報の取得
- 参加 自主防災会(区長、組合長) 52人
町議員 8人、民生委員 15人、一般 11人
計86人が参加



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達, 避難計画等に関する事項

隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等

令和3年度 of 取組状況

八千代町・県立八千代高校・民間企業等との町外広域避難に関する覚書 (6月)



大規模洪水災害における
境町民の町外広域避難に関する覚書

茨城県結城郡八千代町
茨城県立八千代高等学校
安達運輸株式会社
氏 橋 勝 利
茨城県猿島郡境町

6月21日、八千代町役場で5者による覚書を締結

茨城県立八千代高等学校 (広域避難所兼広域避難場所)



① 洗車場跡地駐車場 (広域避難場所) 【所有者】古河市一般市民 **約50台**

② コンテナ用駐車場 (広域避難場所) 【所有者】常総市 安達運輸株式会社 **約200台**

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

タイムライン(ホットラインを含む)に基づく首長も参加した実践的な訓練
新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた避難所開設訓練

令和3年度の取組状況



実施内容

7月15日(木)に利根町役場・利根町文化センターにおいて、新型コロナウイルス感染対策を講じた、避難所開設訓練を実施しました。

災害対策本部を設置し、職員の初動訓練を行った。昨年度に引き続き、コロナ禍ということもあり、各区の区長等と利根町防災士会の方々に、見学していただきました。

- ① 受付時の訓練として、防護服着用職員による受付・検温
- ② 3密を避けるための、間仕切り設置訓練
- ③ 対策本部と避難所をリモートによる接続。モニターを通しての現場中継訓練。

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

ICTを活用した洪水情報の提供 利根町行政アプリによるプッシュ型の防災情報発信

令和3年度の取組状況



実施内容

利根町行政アプリを導入したことにより、防災情報（避難情報等）の情報をプッシュ型で配信することが可能となりました。

また、防災行政無線で放送した情報の確認ができること、放送内容の音声読み上げ機能もあるため、放送が聞きとれなかった等の課題解決に寄与しました。

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等
牛久市への広域避難訓練を実施

令和3年度の取組状況



実施内容

6月13日(日)に、大規模水害時における牛久市への広域避難訓練を実施しました。

訓練参加者は、地区の代表者、防災士の方々に、避難ルートの確認、避難先となる現地では体育館や駐車場の視察を行いました。

また、訓練の実施にあたり、現地での説明等、牛久市役所の防災課、学校教育課の職員の方々のご協力により、実現することができました。

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災教育の促進

令和3年度 of 取組状況

【本年度の水戸地方気象台の主な取り組み】令和3年10月現在

- 6月18日(金)「茨城県防災気象連絡会」(Web開催)
- 7月2日(木)「久慈川・那珂川洪水予報業務に関する説明会」(Web開催)
- 7月6日(火)、7月13日(火)、7月20日(火)、7月27日(火) 茨城放送において防災に関する解説
- 7月14日(水)、9月2日(木)、10月26日(火)「気象防災ワークショップ」(Web開催)
- 8月18日(水)「茨城県市町村防災担当者向け勉強会」(Web開催)
- 10月3日(日)「いばらき防災大学」気象、地震に関する講演と気象庁ワークショップを開催



久慈川・那珂川洪水予報業務に関する説明会(Web開催)



いばらき防災大学(気象庁ワークショップ)

(3)的確な水防活動のための取組

①重要水防箇所現状の確認

第16回「土砂災害・全国統一防災訓練」に合わせて、涸沼川の重要水防箇所点検を実施

令和3年度 of 取組状況



| 実施内容 |
|---|
| 1. 一級水系涸沼川 令和2年6月6日(日)午前8:30~ |
| 2. 参加者 笠間市総務課危機管理室 笠間市都市建設部管理課 笠間市都市建設部建設課 |
| 3. 点検内容 重要水防箇所における ・訓練時の現況 ・箇所 ・重要度 ・過去の水害実績 |



(3) 的確な水防活動のための取組

① 水防体制の強化に関する事項

消防団(水防団)及び消防との合同点検と連絡体制協議の実施

令和3年度 of 取組状況

- ① 小美玉市内の重要水防箇所を消防部局及び消防団と共同点検した。
- ② 消防部局の担当者と水防体制の確認のための協議を実施した。
- ③ 水門管理者への管理体制の聞き取りを実施した。

共同点検の様子



水防資材備蓄土



土のう(備蓄)

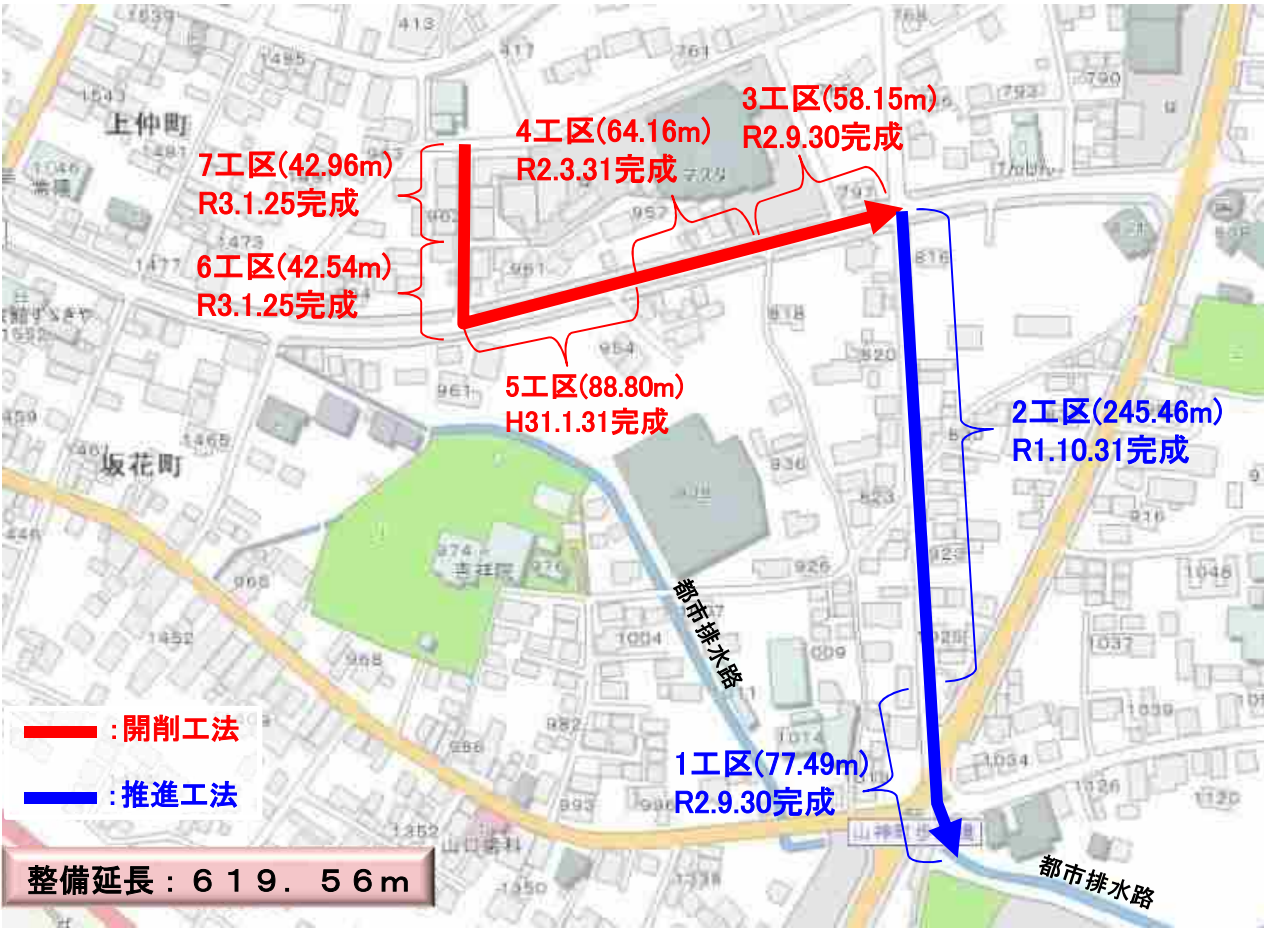


(4) 氾濫水の排水, 浸水被害軽減に関する取組

排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等

令和3年度の取組状況

雨水排水施設（雨水バイパス管）による内水氾濫対策



平成27年関東・東北豪雨の浸水災害の被害を受け、市街地の冠水対策として都市排水路に接続する雨水バイパス管を整備 (1回/7年クラスに対応)



- ◆ 54mm/hの豪雨に対応
- ◆ 排水管内径1.5m

(5)河川管理施設の整備等に関する事項

堤防等河川管理施設の整備(洪水氾濫を未然に防ぐ対策)

令和3年度 of 取組状況

準用河川「染谷川」の排水設備(橋梁)新設工事及び浚渫・伐採等の実施

浚渫・伐採: R3. 2. 9 ~ 6. 30
排水設備: R3. 12. 17 完成